

科目コード	51211	授業科目	地域・精神保健看護特論 I Community and Mental Health and Psychiatric Nursing Theory I			担当 教員	○川崎道子、藤野裕子、 大湾明美、新城正紀、 大川嶺子	
開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・特論	授業 形態	講義	
選択必修	選択（分野必修）	時間数	30時間					
授業概要	地域の健康課題の変遷を踏まえ、その解決に必要な理念、技術について実践例より理解する。また、人格の発達や生活の場におけるメンタルヘルス及び精神保健医療福祉の変遷や関係法・制度と人権擁護・倫理的観点について、文献を通して様々な視点から理解する。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生活動と健康について記述できる。 2. 諸外国および我が国の精神保健福祉の歴史的背景について批判的視点から記述できる。 3. 人格の発達や生活の場におけるメンタルヘルスの現状と課題について記述できる。 4. 精神保健福祉に関連する法律・制度・社会資源および精神科リハビリテーションにおける看護職の役割について記述できる。 5. 地域の健康課題解決のための保健計画の立案及び実施を評価し改善策を提案できる。 6. 地域の健康課題をヘルスプロモーションの視点から地域組織の支援、地域ケアシステムの構築のあり方について記述できる。 7. 地域における看護管理と活動での倫理的問題・その対応について記述できる。 							
講義回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1回	公衆衛生活動と健康						新城正紀	
第2回	精神保健福祉の動向1：精神保健福祉法や関連法						藤野裕子	
第3回	" 2：精神科リハビリテーション						"	
第4回	3：社会資源とネットワーク						"	
第5回	精神保健医療・看護の変遷：諸外国、日本、沖縄						大川嶺子	
第6回	社会とメンタルヘルス						藤野裕子	
第7回	人格の発達と場(家庭・学校・職場・地域等)におけるメンタルヘルスの現状と課題						"	
第8回	精神保健福祉分野における法的・倫理的問題と看護職の役割						"	
第9回	健康課題の変遷（法律・制度）と公衆衛生看護活動						川崎道子	
第10回	公衆衛生看護の歴史（欧米、日本、沖縄）及び公衆衛生看護教育						"	
第11回	公衆衛生看護のアセスメントと活動の展開過程（PDCA）						"	
第12回	ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）と地域組織への支援・評価						"	
第13回	地域の健康課題と地域ケアシステムの構築及び施策化						大湾明美	
第14回	健康危機管理（災害・感染症等）、公衆衛生看護管理及び公衆衛生看護活動における倫理的問題						川崎道子	
第15回	まとめ						川崎・藤野	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「我が国の精神保健福祉」（精神保健福祉研究会 監修） 2) 随時、文献・資料を紹介、もしくは学生が収集し、検討する。 							
成績評価の方法	授業参加状況、自己学習の状況とレポート等を総合して評価する。							
備考								

科目コード	51220	授業科目	地域保健看護演習 Community Health and Nursing Seminar			担当教員	○川崎道子 大湾明美 牧内忍	
開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・演習	授業形態	演習	
選択必修	選択（分野必修）	時間数	60時間					
授業概要	地域社会で生活する人々の健康レベルに合わせた支援の理論および実践について、文献抄読・事例検討・講義・討論等により学習し、看護実践と教育・研究に応用する能力を養う。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活する人々の状況を学際的・広域的な視野でとらえ、課題を検討することができる。 2. 地域における人々の健康ニーズに基づく対策について検討することができる。 3. 地域保健看護活動における業務の科学的な展開を推進することができる。 4. 文献の活用・事例検討・討議等の理論と実際を実務の場で用いることができる。 							
講義回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1・2回	人々の生活と健康						川崎道子 大湾明美 牧内忍	
第3・4回	〃							
第5・6回	地域における人々の健康課題							
第7・8回	〃							
第9・10回	地域診断の実際							
第11・12回	〃							
第13・14回	地域保健看護活動方法の理論と応用							
第15・16回	〃							
第17・18回	地域保健看護活動に用いる技術							
第19・20回	〃							
第21・22回	地域保健看護活動計画の実際							
第23・24回	〃							
第25・26回	地域保健看護活動におけるリーダーシップ							
第27・28回	〃							
第29・30回	まとめ							
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	随時、文献・資料を紹介する。							
成績評価の方法	各学生の授業に臨む準備状況、討論への参加度、プレゼンテーション、課題レポート等により評価する。							
備考	学生は科学的な業務展開のリーダーシップを養うことを意識して、自主的に授業に参加する。							

科目 コード	51225	授業 科目	地域保健看護実習 Community Health and Nursing Practicum		担当 教員	○川崎道子 大湾明美 牧内忍	
開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	4単位	科目 分類	専門科目・実習	授業 形態	実習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	180時間				
授業概要	地域保健看護特論Ⅰ・地域保健看護演習の学習成果を基にして、地域保健看護の場で直面している地域保健看護上の課題解決や研究を図る方法を学ぶ。						
到達目標	1. 地域保健看護の実践現場の組織・運営上の課題を分析できる。 2. 地域保健看護の対象のヘルスニーズを分析できる。 3. 地域保健看護の質向上と課題解決について関係者と検討できる。 4. この分野の研究遂行上の課題や倫理的配慮を検討できる。						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画					担当者名	
4週間	1. 実習日時と実習内容は、学生の研究課題に基づいて、実習受け入れ機関と調整する。 実習機関の例（一つまたは複数の機関で実習する） ①病院相談部門 ②保健所 ③市町村保健福祉部門・保健センター ④小学校・中学校・高等学校保健室 ⑤事業所健康管理部門 ⑥老人保健施設・介護老人福祉施設 ⑦訪問看護ステーション ⑧グループホーム ⑨NGO/NPO 団体等 2. 実習計画書を提出する。 3. 実習機関の関係者等とのカンファレンスを行う。 4. 研究課題に関する実習成果について、実習実施報告書を提出する。					川崎道子 大湾明美 牧内忍	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	必要時、文献・資料を紹介する。						
成績評価の方法	各学生の実習に臨む準備状況、自主的な実習実施状況、実習計画書・実習実施報告書等により評価する。						
備考	学生は自らの研究課題に基づいて実習計画を作成し、教員および受け入れ機関職員と十分な調整を行った上で、自主的に実習を実施する。						

科目コード	51320	授業科目	精神保健看護演習 Mental Health and Psychiatric Nursing Seminar			担当教員	○藤野裕子 大川嶺子			
開講年次	博士前期課程 1年次	単位数	2単位	科目分類	専門科目・演習	授業形態	演習			
選択必修	選択(分野必修)	時間数	60時間							
授業概要	精神看護に必要な基本的精神看護理論、精神療法、対人関係論などについて演習する。また、文献学習や事例を用いて、実践領域におけるセラピーの活用方法を学ぶ。									
到達目標	<p>1. 精神看護に必要な基本的看護理論や概念に関する文献学習を通し、実践への活用と評価(効果)について理解する。</p> <p>2. 精神看護の関連技法の演習や実践事例の検討をとおり、自分自身を洞察し自分自身の看護実践について多方面から概観できる。</p>									
講義回数	授業内容及び計画						担当者名			
第1・2回	精神看護に関する看護理論1：精神力動看護						藤野裕子 大川嶺子			
第3・4回	精神看護に関する看護理論2：対人関係理論									
第5・6回	精神看護に関する看護理論3：セルフケア理論									
第7・8回	精神看護の関連技法に関する文献講読： リラクゼーション技法、ホリスティックアプローチ									
第9・10回	リラクゼーション技法の適用：不安・不眠・痛み									
第11・12回	疾患・治療に関する理論等1：ストレス脆弱性モデル、危機モデル									
第13・14回	疾患・治療に関する理論等2：医学モデル、生活モデル ストレングス・リカバリー									
第15・16回	疾患・治療に関する理論等3：学習理論 認知行動療法、心理教育、生活技能訓練									
第17・18回	臨床で関わった事例についての検討①②									
第19・20回	〃									
第21・22回	事例のアセスメント①②									
第23・24回	〃									
第25・26回	精神看護専門職者の役割と多職種との連携									
第27・28回	事例検討・文献学習を通して自己の実践課題を明確化し、レポートを作成									
第29・30回	する。これらを実習や看護実践に役立てる。まとめ									
テキスト	南裕子監修.(2010).精神科看護の理論と実践.ヌーヴェルヒロカワ.									
参考文献	その都度文献・資料を収集し講義・討議する。									
成績評価の方法	演習への参加状況、試験あるいはレポート等を総合して評価する。									
備考										

科目 コード	51325	授業 科目	精神保健看護実習 Mental Health and Psychiatric Nursing Practicum		担当 教員	○藤野裕子 大川嶺子、村上満子	
開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	4単位	科目 分類	専門科目・実習	授業 形態	実習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	180時間				
授業概要	病院・精神保健施設・行政機関や保健所及び市町村等の施設において、対象者へケアを実施しながら、ケース間のグループダイナミクス、多職種連携、コンサルテーション、コーディネーション、などについて体験学習する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健看護特論 I および精神保健看護演習で学んだことを基に、各種精神保健関連施設において看護ができる。 2. 対象者へ精神看護アセスメントを実施し、対象者の看護計画を記述できる。 3. 看護計画にそって、看護実践を展開・評価し、事例報告ができる。 						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画					担 当 者 名	
実習期間	平成 年 月 日 () ~ 月 日 () の間					藤野裕子 大川嶺子 村上満子	
2週間以上	1) 急性期の患者を2例の看護実践 実習施設：医療法人卯の会 新垣病院 または 医療法人天仁会 天久台病院						
2週間以上	2) 慢性期・回復期にある対象を2例受け持ち、到達目標に沿って実習する。 実習施設：県立精和病院 その他、精神保健福祉施設など ◆ケースカンファレンス：指導教員のスーパービジョンを受けながら、定期的にカンファレンスを実施し、受持事例について検討する。 ◆ケースレポートの作成：急性期の患者及び慢性期・回復期の患者について、それぞれ1例についてケースレポートを作成し、アセスメント～看護実践までの一連の看護実践について評価し考察する。						
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	適宜参考文献・資料収集などを行い検討する。						
成績評価の方法	レポート、実習態度、実習施設職員からの客観的評価などを総合して評価する。						
備考							

科目コード	51233	授業科目	地域・精神保健看護特別研究 I Community and Mental Health and Psychiatric Nursing Special Study I			担当 教員	◎川崎道子、 ◎大湾明美、新城正紀 ◎藤野裕子、大川嶺子 村上満子、牧内忍	
開講年次	博士前期課程 1～2年次		単位数	8単位	科目 分類	専門科目・特別研究	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）		時間数	240時間				
授業概要	地域・精神保健看護領域において院生が自ら研究課題をみつけ、文献検討、研究対象と方法、技法を選択し、データを収集し、結果を分析、考察して論文を完成することを学習する。この過程から学問をする態度、倫理性、科学的思考、学問を通しての社会的貢献などを学習する。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究プロセスを理解し、研究指導教員の指導の下に実施できる。 2. データ収集・分析、文章表現法などの基本的技法やマナーを習得できる。 3. 論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4. 研究する者として必要な倫理的態度を身につける。 							
回数	授 業 内 容 及 び 計 画						担当者名	
1年次	<p>4月 入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定＊ 履修指導、履修届の提出＊</p> <p>関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成</p> <p>毎月 研究計画検討会・・・研究計画書の検討＊ 研究倫理審査申請＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析</p>						川崎道子 藤野裕子 大湾明美 新城正紀 大川嶺子 村上満子 牧内忍	
2年次	<p>10月（4月） 研究結果検討会・・・研究結果の検討＊ 主査・副査の決定 考察・論文作成</p> <p>12月（6月） 修士論文 第1稿・学位審査申請書の提出＊ 1月（7月） 中間発表会＊ 修士論文 最終稿 の提出＊</p> <p>2月（8月） 論文審査・最終試験＊ 可否および修了判定</p> <p>3月（9月） 公開発表会＊ 修士論文 保存版 の提出＊</p> <p>※（ ）内は、前学期修了者の日程</p>							
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示し検討する。							
成績評価の方法	審査委員会により論文審査および最終試験（口頭または筆答による）を行う。							
備考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自掲示には十分注意を払うこと。 担当教員欄の◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。							

科目コード	51234	授業科目	地域・精神保健看護課題研究 Community and Mental Health and Psychiatric Nursing Problem Study			担当 教員	◎川崎道子， ◎大湾明美、新城正紀 ◎藤野裕子、大川嶺子 村上満子、牧内忍	
開講年次	博士前期課程 1～2年次		単位数	8単位	科目 分類	専門科目・課題研究	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）		時間数	240時間				
授業概要	地域及び精神保健看護領域に関連した現場の中から自ら選択した課題に焦点をあて、課題に関する最新の知識を収集し理解した上で、問題解決の方法と技法を考究し、実践の結果を分析、考察して報告書を作成する。							
到達目標	1. 研究指導教員の指導の下、課題を発見し、問題解決方法や技法を考究し、実施できる。 2. データ収集・分析、文章表現方法など基本的技法やマナーを習得できる。 3. 論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4. 実践家として必要な倫理的態度を身につける。 5. 専門職者として生涯学習する態度を身につける。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
1年次	4月 入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定＊ 履修指導、履修届の提出＊ 関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成 毎月 研究計画検討会・・・研究計画書の検討＊ 研究倫理審査申請＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析						川崎道子 藤野裕子 大湾明美 新城正紀 大川嶺子 村上満子 牧内忍	
2年次	6月・10月（2月） 総合科目試験＊ 10月（4月） 研究結果検討会・・・研究結果の検討＊ 主査・副査の決定 考察・論文作成 12月（6月） 課題研究 第1稿・学位審査申請書の提出＊ 1月（7月） 中間発表会＊ 課題研究 最終稿 の提出＊ 2月（8月） 課題研究審査・最終試験＊ 合否および修了判定 3月（9月） 公開発表会＊ 課題研究 保存版 の提出＊ ※（ ）内は、前学期修了者の日程							
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示する。							
成績評価の方法	審査委員会により総合科目試験（口頭および筆頭）、課題研究報告書の審査および最終試験（口頭または筆答）を行う。							
備考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自 掲示には十分注意を払うこと。 担当教員欄の◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。							